

特別活動指導案

2004年11月15日(月) 5校時

授業者 北松園中学校 伊藤 功

学級 1年1組(男子22名、女子17名)

1. 単元名「家庭学習を見直そう(二学期中間テストの時の学習をふりかえろう)」

2. 単元設定の理由

授業を受けただけで、その知識を自分のものにできる生徒は稀である。多くの生徒が家庭での復習を重ねることによって、授業の内容を自分のものとして定着させる。小学校では定期テストにむけた集中的な家庭学習というのは経験していないので、こういった方法が成果をあげられるのか、生徒それぞれが中学校に入学後から試行錯誤を重ねている。

家庭学習をほとんどしない生徒は定着度が低いと言えるが、逆に学習時間が長ければ長いほど成果があがるかと言えばそうでもないものである。ところが生徒の中には、長時間にわたって家庭学習をやりながら成果があがらず、悩む生徒もいる。

本単元で、生徒の家庭学習の方法とその成果の実態を交流することで、より多くの生徒に対して参考となる取り組み方を確認していく。計画的な学習に取りくめるようにながら、日常的な予習・復習に取りくみ、授業を真剣に受けるようにさせる。

3. 生徒の実態

本校の学区は、経済的にもゆとりがある家庭が多く、保護者の教育に対する関心が高いため、学習塾や通信教育を受けている生徒が多い。本学級の生徒で調査したところ、学習塾21名や通信教育10名などなんらかの形で、学校外での教育を受けている生徒は、39名中26名であった。(両方に取り組んでいる生徒は5名)

しかし、一学期末の三者面談において、本学級では「勉強の仕方がわからないようなんです」という相談を、数名の保護者から受けた。兄・姉のいない長子(長男・長女)は16名おり、保護者が相談相手となっているがどうしたものかということである。(本校では今年度より一学期の中間テストを廃止したため、期末面談で初めて相談を受けた)

定期テストについては、家庭における授業の復習の仕方が結果に直結するため、塾や通信教育とは違った自分なりの学習方法が求められる。とりあえずワークを一度解いてみるとか教科書を読んだというだけで、試験を迎えているものもいる。

4. 指導の構想

定期・実力テストの学習計画表に記録された学習時間、テストの結果、および生徒にアンケートを実施して得た学習の方法をExcelによって匿名でデータ処理する。そこから生徒の傾向を分析し、ある程度まとまった時間を集中してとりくめたり、より成果をおさめられた学習方法を紹介する。短時間でやめてしまう生徒や、集中できない生徒にも参考となる学習方法を示す。

5. 単元の目標

- ・ 他の生徒の学習方法を参考にしながら、自分にあった効率的な学習方法を見つける。
- ・ 定期テストに向けた時期だけでなく、日常的な家庭学習を確立させる。
- ・ 学習の基本は授業であることを実感させ、授業を真剣に受ける大切さを考えさせる。

6. 指導計画（総時間数12時間）

- ・ 一学期末テストの計画をたてよう／とりくみをふりかえろう……………2時間
- ・ 夏休み明けテストの計画をたてよう／とりくみをふりかえろう（前時）……2時間
- ・ 二学期中間テストの計画をたてよう／とりくみをふりかえろう（本時）……2時間
- ・ 二学期末テストの計画をたてよう／とりくみをふりかえろう……………2時間
- ・ 冬休み明けテストの計画をたてよう／とりくみをふりかえろう……………2時間
- ・ 三学期末テストの計画をたてよう／とりくみをふりかえろう……………2時間

7. 本時の計画

（1）本時の目標

- ・ 二学期中間テストでの取り組みを分析し、改善すべき点を見つけさせる。
- ・ 二学期末テストに向けて、どのような家庭学習にしたいか、見通し・意欲を持たせる。

（2）本時の指導の構想

- ・ 二学期中間テストでの、総学習時間とテスト結果の関連について分析する。
- ・ 教科別に、成果のあがっている生徒や満足度の高い生徒の学習方法を紹介する。
- ・ 自分の学習方法について考えをまとめさせ、交流する。

（3）本時の展開

別紙

（4）本時の評価の観点

今までの自分の学習方法について改善すべき点を見つけ、二学期末テストに向けてどのように工夫するか、見通し・意欲を持つことができたか。

●本時の展開

	教師の活動	生徒の活動	備考
導入 ・ 5分	<p>①前時の学習を想起させる</p> <p>前回の授業で見えてきた、効果的な学習方法は何か?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒を指名する 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間だらだらやらない ・集中すれば短時間でもよい ・くり返しやるといい 	前回使った資料
展開 ・ 30分	<p>②今時の目標を確認する</p> <p>中間テストの反省を生かし、期末テストにしっかりと向きよう</p> <p>③中間テストでのとりこみ結果はどう効果があったか、確認する</p> <p>総学習時間・平均学習時間と成果(得点や順位)は結びついていだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習時間の長い人が、いい成績をとれたのだろうか。 ・平均時間の長い人が、いい成績をとれたのだろうか。 ・では、長い時間学習したことは意味がなかったのだろうか? <p>④長い時間学習できた人や成果をあげられた人は、どんなやり方をしているのか、生徒の実態を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中位の生徒に、予想させる ・各教科毎に、上位の生徒の学習の傾向を紹介する(中位・下位の生徒との比較等も) ・集中しながら時間を長くやるためにはどうしたらいいか 印象に残った方法はなんですか 	<ul style="list-style-type: none"> ・長くても順位の低い人もいる ・平均が長くても、総学習時間の短い人もいるから、平均では決まらない。 ・長くとりこみつけた人は、夏休み明けテストよりも成績を伸ばした人が多い。長くやった意味はある。 ・前回のポイントを実行できたから? 	<p>本時資料①-1</p> <p>本時資料①-2 生徒がまとめられなかったら、教師がまとめる。</p> <p>本時資料② 国数社理英全</p>
感想 まとめ 記入 ・ 15分	<p>⑤先生からの勉強法の紹介</p> <p>⑥期末テストにむけての、学習の仕方についての決意を書かせる</p> <p>⑦決意の発表</p>	<p>(時間がない場合は、後日プリント化して配布する)</p>	プリント配布